

地域ねこ活動の定着と普及を目指して

○望月弥生¹⁾、熊谷彰芳¹⁾、塩入章子¹⁾、谷綾子¹⁾、小林雅巳¹⁾、松澤寿次¹⁾、小林正直¹⁾、藤森令司¹⁾、斉藤富士雄¹⁾、岡田英二²⁾、山田敏子²⁾

¹⁾ 長野県動物愛護センター「ハローアニマル」、²⁾ 長野県動物愛護会松塩筑支部ねこ部会

はじめに

地域に生息する飼い主のいないねこ（以下「地域ねこ」という。）がもたらす生活環境被害や苦情対策として「地域ねこ活動」が全国各地で行われている。長野県でも、「地域ねこ」の適正な管理と繁殖防止を図るため、ボランティアによる「地域ねこ活動」が実施されてきた。当センターでは、この活動を定着・普及させるため、平成14年度から支援事業を実施してきた。

今回、長野県における「地域ねこ活動」の効果と当センターで支援事業として実施してきた「地域ねこ」の避妊去勢手術状況および術前検査結果を報告する。

実施方法

1 実施期間 平成14年4月～平成24年3月

2 地域ボランティアの活動

地域ねこ活動とは、飼い主のいないねこによっておこる問題を地域で解決し、住民とねこが共生していくことを目的とした活動のことであり、ボランティアは周辺住民へ活動についての説明や糞拾い、餌場やその周囲の衛生管理、捕獲や飼養管理のための定時定点給餌、生息調査および個体管理を行った。

3 支援事業の流れ

「地域ねこ」の避妊去勢手術は毎年3月に翌年度の年間計画を立て、各地域のボランティアは計画に沿って、下記のとおり実施した。平成14年度～平成21年度の年間計画頭数は約60頭、平成22年度からは68頭と頭数を増加し、1回で行う頭数は4頭（うち雌が最大3頭まで）とした。

(1) 地域ねこの搬入（1日目）

ボランティアが「地域ねこ」の生息調査と個体管理のためのカルテを作成し、捕獲後に当センターに搬入した。搬入は避妊去勢手術日の前日とし、搬入時にボランティアは個体識別のため、捕獲器に地域名とカルテ（管理）番号を記載したタグを添付した。搬入から搬出までの3日間は、当センター職員が飼養管理を行った。

(2) 避妊去勢手術および術前検査の実施（2日目）

当センターにおいて、術前検査（視診、触診、血液検査、便・尿検査）、酵素免疫抗体法（ELISA）を用いた検査キットによるウイルス検査（猫免疫不全FIV・猫白血病FeLV）、避妊去勢手術を実施し、術後に耳のV字カットと首輪の装着を行った。

(3) 地域ねこの搬出（3日目）

搬出は手術日の翌日に行い、ボランティアに検査結果と写真を添付したカルテの写しを報告書として渡した。ボランティアは捕獲された支援地域に当該ねこを戻し、継続して個体管理等を行った。

結果及び考察

平成14年度～平成16年度の支援地域はM市内の6地域で管理頭数は102頭であったが、「地域ねこ活動」が地域に定着したことにより、平成17年度には11地域282頭となった。平成18年度以降は県内に徐々に拡大し、平成23年度には117地域1,075頭となった（図1～3）。

ボランティアの人数も活動当初では約30名だったが、平成23年度では約400名と増加し、県内に広く普及した（図4）。当センターで実施した避妊去勢手術頭数は年間約60頭で、延べ549頭であった。

また、「地域ねこ」がウイルス性疾患に高率に罹患していることを疑い、ウイルス検査（猫免疫不全FIV・猫白血病FeLV）を手術時に実施したところ、FIV陽性率は11.4%、FeLV陽性

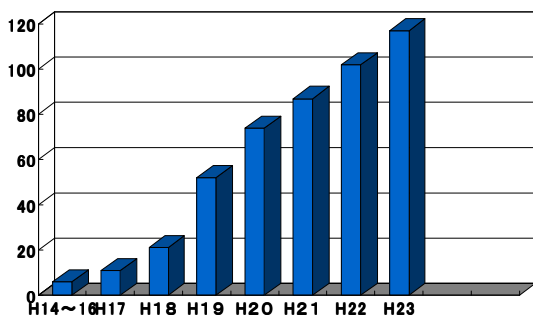
率は7.1%であった。国内のFIV陽性率は約12%、FeLV陽性率は5～10%と推定されており、今回の結果も同程度であった(図5)。FIV陽性の内訳は雄:17.1%、雌:7.7%、FeLV陽性では雄:10.2%、雌:5.0%であり、いずれも雄の陽性率は雌に比べ高いことがわかった(図6)。

避妊去勢手術の実施により「地域ねこ」の繁殖制限ができ、「地域ねこ活動」を始めてから約3年後の地域では管理頭数が半数から3分の2程度に減少した。この活動を継続したことで管理頭数が0になった地域もあり、ボランティアと行政が協働することで「地域ねこ活動」が普及し、飼い主のいないねこによる被害対策として大きな成果があった。

今後もより一層支援していくことで「地域ねこ活動」の定着と普及を図り、人と動物が共生する潤い豊かな社会の構築を目指したい。

(図1)

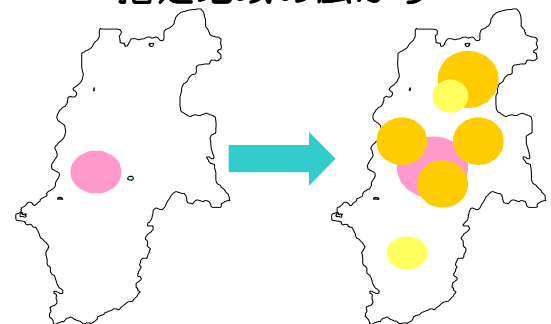
指定地域の推移



活動当初：6地域 → 平成23年度：117地域

(図2)

指定地域の広がり

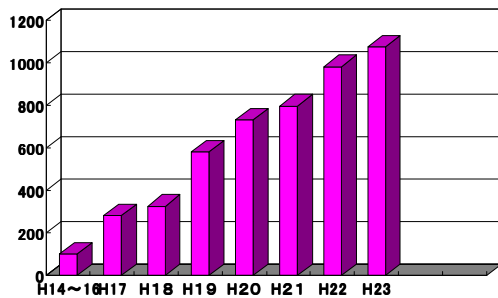


平成14年度

平成23年度

(図3)

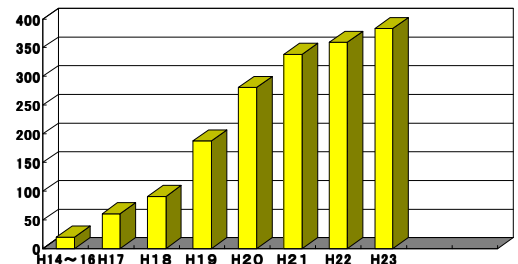
管理頭数の推移



活動当初：102頭 → H23年度：1,075頭

(図4)

ボランティア数の推移

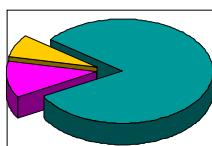


活動当初：約30名 → 現在：約400名

(図5)

ウイルス検査の結果

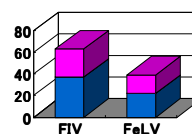
- 酵素免疫抗体法(ELISA)を用いた検査キット
アイテックス ラボ システムズ(株)入替・FeLV/FIVコンボ
- 検体：搬入されたねこの血液
♂：216頭 ♀：337頭 計 553頭



FIV陽性率：11.4%
(国内：約12%)
FeLV陽性率：7.1%
(国内：約5~10%)

(図6)

FIV/FeLVの雌雄比



FIV♂の陽性率：17.1%
FIV♀の陽性率：7.7%

FeLV♂の陽性率：10.2%
FeLV♀の陽性率：5.0%

